

埼玉佛教

平成29年1月 第209号

平成29年1月6日 発行
 No.209
 〒330-0063
 さいたま市浦和区高砂4-13-18
 一般財団法人 埼玉県佛教会
 電話 (048) 861-2138
 FAX (048) 864-6649
 発行人 木村 盛雄
<http://saibutu.net>
 印刷所 関東図書株式会社



「第38回埼玉県佛教徒大会」(ウエスタ川越・平成28年11月16日〔水〕)

新年挨拶	2
宗教法人研修会案内	2
受章報告	3
第9回埼玉佛教文化講座案内	3
第38回埼玉県佛教徒大会	4
義指福祉募金報告	5
地区仏教会だより	6
・妻沼地区仏教会	6
・東松山・滑川仏教会	7
・浦和仏教会	8
トピックス	8
「埼玉連」研修旅行	8
「埼玉同宗連」現地研修会	9
「人権埼玉実行委員会」	9
・福岡県視察交流会	10
「解放同盟」	10
・第36回埼玉人権フォーラム	10
年賀名刺広告	11
訃報	12
事務局日誌	12
今後の予定	12
幼児画展(予告)	12
編集後記	12



新年挨拶

一般財団法人埼玉県佛教会

会長 木村 盛雄



謹んで新年のお祝いを申し上げます併せて皆様の除災招福をお祈りします。お陰様にて県佛二大行事、各流讃佛歌奉詠大会（9月7日・大宮ソニックシティ）、県佛大会（11月16日・ウェスタ川越）も盛大に円成する事ができ篤く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、大隈良典氏がノーベル医学・生理学賞を受賞されたことよって日本人のノーベル賞受賞は3年連続となりました。また、リ

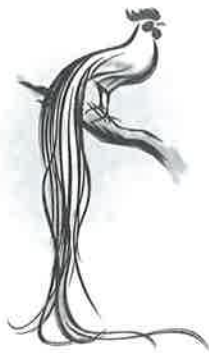
オ五輪では次世代を担う若手のめざましい活躍があり史上最多の41個のメダル獲得となり、東京五輪へ向けて弾みがつきました。一方、九州地方に発生した地震や、北海道の豪雨災害など自然の猛威に翻弄され人間の無力さを痛感いたしました。また5月にアメリカのオバマ大統領が現職の大統領として初めて原爆死没者慰霊碑を訪れ、献花ならびに演説を行い世界の注目を集めたことも忘れられない出来事でした。他にも任天堂からスマートフォン向けに配信されたゲームアプリ「ポケモンGO」によつて昼夜を問わず、公園や境内地に多くの人達が入り入りするようになり社会問題を引き起こしました。

世界に目を移しますと、昨年7月、バン格拉デシ首都ダッカで飲食店襲撃事件が発生、日本人7人を含め20人が死亡。フ

ランス南部のリゾート地ニースでは、フランス革命記念日に花火の見物客を狙ったテロが発生、死者80人、負傷者100人以上と銃の乱射事件や自爆テロで無差別に人の命が奪われるなど、痛ましいニュースが絶えることなく報道されております。

多くの人が将来への不安にかられている今、「心の安らぎ」を手引きする事こそ我々宗教者の役目であると思えます。結びに、心穏やかに過ごせる日々が訪れますよう祈念いたします。年頭あいさつといたします。

合掌



【平成28年度 宗教法人研修会】 13:30~16:00

- (1) 埼玉県宗教連盟の概要等について (15分)
- (2) 埼玉県における基本的な事務手続きについて (45分)
- (3) 宗教法人税務の基礎知識とマイナンバーの関わりについて (60分)

- 平成29年2月7日(火)さいたま会場 埼玉佛会館・1階多目的ホール
- 平成29年2月16日(木)川越会場 ウェスタ川越公共施設棟内・4階大会議室

お問い合わせ先 埼玉県総務部学事課 総務・宗教法人担当

電話048-830-2568

平成二十八年

おめでとうございます

春の叙勲

瑞寶雙光章 関口 庸進 師

(越谷市・寶正院 更生保護功勞)

秋の叙勲・褒章

藍綬褒章 丸山 臺山 師

(坂戸市・宗福寺 更生保護功績)

旭日小授章 興 淳明 師

(白岡市・興善寺 地方自治功勞)

瑞寶雙光章 遠藤 隆雄 師

(さいたま市・大光寺 更生保護功勞)

瑞寶雙光章 佐藤 玲秀 師

(狭山市・明光寺 更生保護功勞)

瑞寶單光章 高倉 俊明 師

(小川町・養昌寺 消防功勞)

第9回埼玉佛教文化講座

入場無料・要申込



天台宗公式キャラクター「しょうくうさん」

開催 2月20日 [月曜]

開場 13時、開会 13時30分、
閉会 15時50分 (予定)

会場 埼玉会館・会議室 [さいたま市浦和区高砂4-13-18]

〈仮〉『お写経のすすめ』

—お経の説明と写経の意義を学び、実際にお写経を体験してみよう—

第1部【学習編】講演『お経解説と写経の意義』/第2部【実践編】写経体験

講師 大野亮弘先生 天台宗 八王寺《通称・竹寺》住職

定員：60名

当日は、毛筆タイプの筆ペンをお持ちください。【必須】

今回の講座テーマは、参加者アンケートでも要望が多かった「お写経」です。

初めに【学習編】として、講師から『お写経の意義』と『お経の解説』をしていただきます。続く、【実践編】では、皆さまに写経体験をしていただきます。心を落ち着かせて一字一字に願いを込めながら、お写経に取り組んでみてはいかがでしょうか？ 一字一句、丁寧に心を込めて浄書すれば、心身を集中させ、雑念を払い、やがて心の安らぎを得ることでしょう。

■お申込方法…同封別紙(チラシ参照)の申込欄に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。[FAX 048-864-6649]

※お申込が定員(60名)に達し次第、受付を終了いたします。予めご了承ください。

第38回埼玉県佛教徒大会

平成28年11月16日(水)、ウェスタ川越「大ホール」において第38回埼玉県佛教徒大会が開催された。今大会は坂戸鶴ヶ島佛教会(光地英隆会長)が主管となり、埼玉県西部地区仏教会が後援した。

大会テーマは『現代の出家とは』誰にでもできる人生の再スタート』で参加者は県内外各地から約1000名。

光地英隆会長の開会のことばで開会。続いて、アトラクショ



ンの仏教オペラに出演される寺庭婦人によって献花の後に法楽が厳修され、木村盛雄会長が主催者あいさつを行った。続く来賓あいさつでは、全日本仏教会・財務部長の和田学栄師からごあいさついただいた。

記念講演では、講師に花園大文学部教授の佐々木閑師を迎え『出家的人生の喜び』と題し、ご講演いただいた。

— 講演内容(※) —

出家は世俗を離れ僧になることを意味するが、出家的な生き方は日常の暮らしの中でもできる。仏教は仏法僧の三宝を敬う。仏は釈迦、法は教え、僧はサンガ(僧団)で、永平寺で修行している僧の姿がサンガに近い。釈迦は人生の本当のあり方を悟った知恵の人である。仏教以前のインドにあったバラモン教は多神教で、神道に似ている。

問題は人間は生来、区別があるとしたことで、血筋に基づくカースト制度を作っていた。釈迦はそれに疑問を持ち、人間は平等だと考えた。それは、老病死に遭遇する誰もが不幸だという意味の平等であった。

青年になった釈迦は世の中のことを知るために、四つの門から出て視察した(四門出遊)。最初に出会ったのは老人で、次に病人、そして死人、最後が修行者。釈迦は幸せになるには修行するしかないと思い、数日後に城を出て、6〜7年間、森で修行し、菩提樹の下で悟りを開いた。

老病死をなくすことはできないと思った釈迦は、それらを苦しみにしない道を求め、老病死が心の中で苦しみに変わるのを避けようとした。そうなる原因が、そうではないのに世の中が自分中心に動いていると思うことにあると気付いた。例えば、今日まで健康なので明日も健康だと思っているの、病気に

なつて失望してしまふ。そんな自分中心を釈迦は煩惱と呼んだ。いろいろな出来事が苦しみに変わる心の仕組みが煩惱である。苦しみを消すには、その仕組みを自分で変えるしかない。



悟りを開いた釈迦は、安心して年を重ね、幸せに死んでいこうと考えた。それを見たバラモン教の神・梵天が、他の人にも教えてくれるよう頼んだ。釈迦は、断つたが、梵天が苦しみを抱え、話を聞きに来る人だけに教えるよう頼むので、それならばと承知し、説法を始めた。釈迦の話聞いた人たちの集まりがサンガである。

出家とは世捨て人ではなく、世俗の価値観を変え、同じ価値観の人と組織を作り、別の人生



を歩むことで、煩惱を消すには、精神を集中して自分を見つめな
いといけない。集中するのに最
適の姿勢が坐禅で、仏像の姿で
ある。それを何年も続けると格
が変わる。

食事は托鉢で賄い、くれるも
のを頂き、決して自分からは求
めない。釈迦がそう教えたので、
仏教は消えることなく、今も続
いている。社会の好意にすがっ
て生きるのも、トラブルは起こ
さない。出家は経済活動をして
楽しく暮らすことを捨て、修行
の道を選ぶことである。タイの
僧は今も一日一食で、托鉢は午

前中。私も毎年一週間ほど修行
に行っている。釈迦はサンガの
規則を数百定め、それが今も守
られている。それが律で、日本
以外の国の僧は従っている。日
本が仏教を受容したのは国家公
務員を作るため、律は拒否し
た。それが他の仏教国との大き
な違いである。

出家とは自分の本当の生きが
いを追求する道で、出家前のい
ろいろな幸せを捨てないといけ
ない。生活は苦しく、社会に依
存するようになる。基礎的な科
学者は出家的と言えよう。そう
した集団はどんな組織にもいて、
出家者は社会への感謝を忘れて
はいけない。

※宗教新聞第707号掲載記事
から一部引用しました。

第二部のアトラクションは、
真言宗智山派有志僧侶と埼玉第
10、11、12教区寺院婦人によつ
て仏教オペラが演じられた。演
目は「お大師様のご生涯」で弘
法大師空海が歩まれた歴史を表



現したスライドに法話をのせて、
ご詠歌、声明を織り交ぜながら
の50分にわたる公演。本会が毎
年開催している奉詠大会とは全
く異なる趣のものであった。

平成29年度の第39回大会は埼
玉県南部地区仏教会が担当とな
り、川口仏教会の主管により開
催される予定となっている。閉
会行事で坂戸鶴ヶ島佛教会事務
局の山崎英隆師から、川口仏教
会副会長の小堤孝雄師へ佛旗バ
トンが手渡された。
また小堤副会長から、平成29

年10月25日(水)、JR京浜東
北線川口駅前の「川口リリア」
を会場に開催を予定しているこ
とが紹介された。

大会の結びに、坂戸鶴ヶ島佛
教会の大塚龍道副会長から謝辞
が述べられ閉会となった。



『県佛大会義捐福祉募金報告』

第38回埼玉県佛教徒大会の開
催当日、参加の皆さまからお預
かりした義捐福祉募金の合計金
額は335、402円になった。
募金は坂戸鶴ヶ島佛教会から、
坂戸市ならびに鶴ヶ島市へ寄託
され、社会福祉行政に役立てて
いただく予定となっている。

地区仏教会だより

戦没者殉難精霊慰霊祭

と法話のつどい

妻沼地区仏教会

平成28年9月16日(金)、妻沼
仏教会傘下の妻沼地区仏教会の
主催により、歓喜院本坊を会場
に「戦争殉難精霊慰霊祭と法話
の集い」が開催された。慰霊祭
では、鈴木英全院主を導師に6
名の式衆により法要が厳修され、
20名程の戦没者遺族が焼香した。
続く「法話の集い」では、当会
評議員の鷲津憲道師(越谷市・
観照院住職)が5分にわたる講
演を行った。

講演内容一部抜粋

皆さん宴会などでお酒を飲む
とき「乾杯」という言葉を使う
と思いますが、皆さんは本当に
乾杯しているといえるのでしょ
うか。そもそも乾杯とは、杯を

乾すことを言います。お酒は神
仏に捧げていたものですから、
その御神酒には霊力がこもって
いるのです。その霊力は飲み乾
さないと得られないのです。

乾杯という言葉が一般化した
のはNHKの調査によると戦後
の事だそうです。江戸末期にペ
リーがアメリカからやってきて、
お互いにもてなしの晩餐をした
時、ペリーがグラスを持って
しゃべったとされていますが、
日本にはそのような場面での言
葉が無かったそうです。この時
ペリーが話した内容は、今でも
英語圏で話される「お幸せに、
幸あらんことを」というような
ことだったのでないかと思ひ
ます。この時に日本側が使った
言葉は、おそらく「弥栄」とい
う言葉だったと想像します。

「いやさか」という言葉は、
お酒を飲む時に使った日本最古
の言葉として文書に残っていま
す。奈良県に大神神社という本
殿が無く拝殿のみのお宮があり



ます。何故、本殿が無いかとい
うと古い時代、神様はお社の中
にいたのでなく、山なら山、
岩なら岩、滝あるいは数百年、
数千年の樹木そのものに神が宿
るとされてきたのです。ここは
後ろの三輪山が御神体となつて
お酒の神様を奉っている大神神
社では、その年の新酒を捧げる
ときに「うまい酒が出来た。ま
すます栄えますように。いやさ
かえあれ」と使ったと文書に
残っているのです。私が学生の
頃は「いやさか」という言葉で
お酒を飲んでいたものです。

話は変わって、近頃、通夜葬
儀の後席で「献杯」という言葉
を使う風潮がありますが、これ

は誤った用法です。

もともと通夜・葬儀で出され
る酒は「清め」の為に出来る
もので「清め塩」と全く同じ意
味です。これは弥生神道から始
まった習慣でイザナギ・イザナ
ミの夫婦の神様の古事に由来す
るものです。即ち、妻に先立た
れたイザナギが、妻恋しさの余
り死者の国にイザナミを尋ねて
行き、そこで妻の腐乱した遺体
を見たイザナギは、私は汚れて
しまった。この汚れを「払い清
めなければならぬ」として九
州の高千穂に行き、身を禊ぎ両
眼を洗い鼻を洗ったと言う古事
から、死者は汚れている、そし
て死者の近くに寄った者にも汚
れが移るので、その汚れを外か
らは塩で、内は酒で清めて下さ
い、と言う事を出されるもので、
亡くなった方に捧げるものでは
有りません。ましてや、本来の
仏教には「不飲酒戒」が有りま
すし、亡くなってから49日間は
「戒名・法名」を授かり、修行

期間と言えます。修行期間中ですから、どれだけ酒好きであつたとしても飲酒は許されません。

「献杯」という言葉がいつから流行り出したのかを調べてみました。私が都内で自宅葬を執り行つたのは昭和48年から56年の間です。昭和48年の時のお宅は町中の大地主、息子達がそれぞれ会社を経営。近所からはお手伝いが3人位、会社から4、5人で親戚以外の一般会葬者はいない。近所の人や会社の人はあくまでもお手伝いであつて参列はしないというのが一般的だつた昭和50年代、サラリーマンが主役のテレビドラマが生まれた。同僚が亡くなつたことを知らされたときでも「明日は重要な取引があるから、今夜のうちにお線香を上げにいこう」と同僚と一緒に行くわけです。通夜振る舞いが用意されていても、それは親族のための食事である

後にして、駅周辺のお店でちよつと一杯やつていくかとなつた時に、生前を偲んでグラスを合わせ



「献杯」とやつた。そのシーンを見た葬儀社がカッコイイなと考へ、以来、葬儀社が従業員に「献杯のご用意がしてございませうから」と言わせた。このよ

第22回仏教講演会

東松山・滑川仏教会

第22回を数える東松山・滑川仏教会主催「仏教講演会」が平成28年10月29日、東松山市文化センターを会場に開催され600余名の仏教徒が集まつた。開会式は、大澤貫秀会長のあいさつに始まり、法要は担当の浄土真宗、井上城治導師のもと加盟各宗派の代表が登壇し会場一同で三帰依文をお唱えした。

今回は石川県・翠雲寺、岩尾照尚師によるモンゴルの弦楽器・馬頭琴の演奏が奉納され、映像を交えた迫力ある演奏と憂いをおびた音色に会場は魅了された。講演の部では、青森県明教寺の三明智彰氏を迎え、「報恩の歩み〜現代人の忘れもの」と題して講演会を行つた。講師の三明氏は、九州大谷短期大学の学長でもあり親鸞聖人に関連した著書も数多い。講演は、そ

の親鸞聖人のおことばを引き、われわれ現代人が忘れてしまつた、仏さまや、命を授かつた両親、ご先祖様に対するご恩の大切さをお話しいただいた。時折身振り手振りを交えた楽しいお話しにあつという間の一時間余であつた。開催にあたっては、会員寺院と親交のある関連業社など様々な人々が協力しあい、会場設営、駐車場係等を行い講演会を陰で支えていただいている。また協賛業社の中には御宝前の供花、来場者のお茶、記念





品の絵馬などを奉納する企業もある。

20数年前に県佛大会の会場となったのを契機に発足した東松山・滑川仏教会の当講演会は秋の恒例行事として壇信徒に定着している。宗教離れが叫ばれる今日、地域と寺院の絆を深める意味でも末長くつづけていきたいと考えている。

〔報告〕東松山・滑川仏教会
事務局・覚性寺 木村正俊

『歳末助け合い托鉢募金』

浦和仏教会 埼玉県佛教青年会

平成28年12月3日(土)、浦和仏教会(本間照常会長)と埼玉県佛教青年会(萩原裕史会長)の共催で、歳末助け合い托鉢募金が浦和駅周辺で行われた。参加者は8名。

はじめに浦和駅東口の商店街を通り、東口駅前広場にて読経をし、募金への協力を求めた。



続いて、西口駅前でも同様に読経と呼びかけを行い、玉蔵院にて休憩の後、終了。土曜日のお天気にも恵まれたことから、老若男女問わず多くの方にご協力いただき、53、652円が集まった。寄せられた浄財は、共同募金会へ寄託予定。



トピックス

『平成28年度研修旅行』

埼玉県宗教連盟

平成28年11月11日(金)～12日(土)、一泊二日の旅程で『平成28年度「埼玉連」研修旅行』(高橋慶宣理事長)が実施された。参加者は41名で、本会からは4名が参加した。今回は全行程貸切バスで、世界遺産「富岡製糸場」、生島足島神社(正式参拝)、上田城址公園(真田丸大河ドラマ館)、日本基督教団軽井沢教会を訪れた。初日は、



大宮と川越の2ヶ所での集合。大宮駅東口から川越駅西口に向かい、そこから昼食会場の舌



切り雀のお宿・ホテル磯部ガーデン（安中市）へ。昼食の後はバスで20分ほど移動し、世界遺産「富岡製糸場」に到着。富岡製糸場では、解説員の方のガイドを受けながら場内を見学した。富岡製糸場は明治の創業当初のまま建物が残っており、建物に使われたレンガは埼玉県深谷市の瓦職人たちが作ったという。明治維新直後、近代化を目指す日本の力強さを感じる場所であった。見学を終えると、宿泊先である別所温泉「中松屋旅館」へ。自由行動で北向観音を参拝し、温泉と美味しい食事と疲れを癒して初日は終了した。

2日目は、まず長野県上田市の生島足島神社上宮にて正式参拝。その後、下宮の諏訪神社でも正式参拝を行い、神社の方か

らお話をいただいた。生島足島神社は生きとし生けるもの万物に生命力を与える「生島大神」と、生きとし生けるもの万物に満足を与える「足島大神」の二神が祀られている神社で、関東でこの二神を祀っているのは生島足島神社と皇居だけとのこと。お話の後は、諏訪神社の前にある夫婦櫓や、武田家臣団が武田信玄への忠誠を誓約した起請文などが展示してある歌舞伎舞台を見学した。生島足島神社の次は、大河ドラマ「真田丸」で話



題となっている上田城址公園へ。櫓を背景に記念撮影をした後、真田丸大河ドラマ館にて解散し、自由見学。大河ドラマ館は、ドラマのシーンの説明や、撮影に使われたセット・衣装などが展示されており、特にお土産コーナーは非常に多くの人で賑わっていた。上田城址公園敷地内には、ドラマ館のほかに真田神社、真田茶屋、上田市立博物館などもあり、見所はたくさん。また、紅葉がすばらしい時期でもあり、二の丸堀跡のけやき並木遊歩道では、感嘆の声が数多くあがっていた。上田城址公園の後は、軽井沢浅間プリンスホテルにてイタリアンブッフェの昼食をいただく、旧軽井沢銀座へ。まず、日本基督教団軽井沢教会にて教会の方のお話を聴き、その後は自由散策となった。旧軽井沢銀座のメイン通りは約200店舗が軒を連ねる大きな商店街で、参加者は買い物や食事を楽しみ、帰路へ就いた。

「埼玉同宗連」現地研修会

「埼玉同宗連」

平成28年10月21日（金）、「埼玉同宗連」現地研修会が、群馬県太田市で行われ、各教宗派から20名が参加した。今回のテーマは「世良田村事件」。参加者は太田市立新田荘歴史資料館に集合し、栗原英樹議長のあいさつの後、歴史と人権を考える会の松島一心さんから「世良田村事件」の真相と時代背景について話を聞いた。世良田村事件は大正13年の大晦日に起きた自警団による部落襲撃事件。

この後、参加者は事件の舞台となった普門寺の鐘のほかに、新田義貞の次男である新田義興が祀られている子方明神、2つしかない江戸幕府公認の縁切寺の1つである満徳寺等を視察し、最後に齊藤実朗副議長が謝辞と総括を述べて閉会した。

「福岡県実行委員会との 視察交流会」

「人権埼玉実行委員会」

平成28年11月4日（金）から

二日間の行程で人権教育・啓発推進埼玉県実行委員会（略称「人権埼玉実行委員会」）（木村盛雄会長）は埼玉県と福岡県実行委員会との視察交流会を実施した。「埼玉同宗連」から備前島賢光顧問（前議長）と事務局の小池康宏主事補が参加した。その他、埼玉人企連や行政を合わせて11名が参加した。

朝、羽田空港に集合し空路で福岡入りし、福岡市博多区にある福岡県解放センターを訪問して福岡県実行委員会との意見交



換を行った。まず部落解放同盟福岡県連合会の組坂繁之委員長が歓迎のあいさつを行い、続いて埼玉県を代表して片岡明幸副会長があいさつを行った。

その後、解放同盟福岡県連合会の吉岡正博書記長が「福岡県における解放運動の現状と課題」と題して講演し、その取り組みを報告した。

翌日は、千代人権のまちづくり館を訪問し、「寛政義民松原五人衆」「筑前竹槍一揆」「博多毎日新聞社差別記事糾弾事件」など、千代受難三大事件につい

ての講演を拝聴し、寛政義民松原五人衆が祀られた合葬墓と5人の法要を行っている松源寺などを視察し千代地区のフィールドワークを実施した。

「第36回埼玉人権フォーラム」

部落解放同盟埼玉県連合会

平成28年11月22日（火）、東松

山市民文化センターで「第36回埼玉人権フォーラム」が「世界の人びとと共に人権運動の輪を広げ、平和と人権の21世紀を創造しよう」を集会テーマに開催された。「埼玉同宗連」からは



約80名が参加し、全体としては解放同盟をはじめ行政、教員、企業を含めて930名が参加した。集会前段では「武州鼻緒騒動」のDVDが上映された。全体会では、NPO法人ほっとプラス代表の藤田孝典氏が「下流老人―高齢者の格差と貧困」と題して講演した。午後は5つの分科会に分かれ、第2分科会の「人権教育・啓発の促進」では、真言宗豊山派の三浦英一師から「宗教団体の人権啓発活動」が報告された。



<p>(二財)埼玉県佛教会 副会長 真言宗智山派 三学院住職</p> <p>倉持 秀裕</p> <p>〒335-0001 蕨市北町3-2-4 電話 048-443-2125 FAX 048-443-2544</p>	<p>(二財)埼玉県佛教会 会長 所沢市 持明院住職</p> <p>木村 盛雄</p>	<p>謹賀新年 本年もよろしく お願い申し上げます 合掌</p> 	<p>(二財)埼玉県佛教会 専務理事 水光山 大應寺 住職</p> <p>深谷 雅良</p> <p>〒354-0011 埼玉県富士見市水子一、七六五 TEL 〇四九-二五一-五六六一 FAX 〇四九-二五一-五六〇一</p>
<p>天台宗 東泉寺 住職 叡山講 福聚教会 埼玉本部事務局長 (二財)埼玉県佛教会 常務理事</p> <p>河野 亮玄</p> <p>〒330-0044 さいたま市浦和区瀬ヶ崎二-二五-三 TEL 〇四八-八八六-一五二四 FAX 〇四八-八八六-四一五一 HP http://www.urawa-tosenji.com/</p>	<p>(二財)埼玉県佛教会 常務理事</p> <p>山口 正純</p> <p>川口市安行原二〇〇八 (密蔵院)</p>	<p>(二財)埼玉県佛教会 常務理事</p> <p>浄土宗 蓮馨寺 住職 桑原 恒久</p> <p>川越市連雀町七番地一 電話 〇四九-二二二-〇〇四三 ファックス 〇四九-二二六-〇六七六</p>	<p>(二財)埼玉県佛教会 常務理事</p> <p>曹洞宗 寶持寺 住職 馬場 知行</p> <p>鴻巣市箕田二〇三四 TEL 〇四八-五九六-〇七二九 FAX 〇四八-五九六-七七二四</p>
<p>親鸞聖人旧跡 浄土真宗本願寺派 楠井山 清浄寺 住職 藤井 壽雄</p> <p>〒342-0045 埼玉県吉川市木売一-二〇-五 電話 〇四八-九八二-一六〇〇〇 FAX 〇四八-九八一-一六〇八〇 JR武蔵野線「吉川」駅南口三分</p>	<p>(二財)埼玉県佛教会 理事</p> <p>沼田 正順 日蓮宗妙昌寺住職</p> <p>川越市三光町一九番地 電話 〇四九-二二二-二四二四</p>	<p>真言宗豊山派</p> <p>觀照院</p> <p>〒343-0851 越谷市七左町七-二七八 TEL 〇四八-九六二-五六九五 FAX 〇四八-九六二-五六九六 住職 鷺津 憲道</p>	<p>(二財)埼玉県佛教会 常務理事</p> <p>真言宗 智山派 岩殿山 息障院 住職 村田 栄行</p> <p>〒三五五-〇一五一 埼玉県比企郡吉見町大字御所一四六 電話 〇四九-三五四-〇〇二八 FAX 〇四九-三五四-二九五四</p>
<p>蓮田市仏教会 会長 (二財)埼玉県佛教会 理事 天台宗 慶福寺 住職</p> <p>関口 亮樹</p> <p>〒349-0115 蓮田市蓮田四-一〇四 電話 〇四八-七六八-一五三七 FAX 〇四八-七六八-二二一八</p>	<p>一般財団法人埼玉県佛教会 理事 曹洞宗 金澤寺 住職</p> <p>宮寺 守正</p> <p>〒350-0305 比企郡鳩山町泉井二-三七六 電話 〇四九-二九六-三七三三 http://kontakuji.com</p>	<p>川口仏教会</p> <p>会長 江連 俊裕</p>	<p>真言宗 智山派 岩殿山 息障院 住職 村田 栄行</p> <p>〒三五五-〇一五一 埼玉県比企郡吉見町大字御所一四六 電話 〇四九-三五四-〇〇二八 FAX 〇四九-三五四-二九五四</p>

討報

お悔やみ申し上げます。

平成28年 10月

30日 川口市新光寺(天台)

内田 保雄 師(77歳)

11月

5日 川口市東光院(智山)

小泉 憲雄 師(91歳)

22日 志木市千光寺(智山)

中林 眞雄 師(87歳)

12月

1日 戸田市正覚院(智山)

佐瀬 幸俊 師(78歳)

代議員(現職)

事務局日誌

平成28年 10月

24日▼「人権埼玉実行委員会」

法務局、埼玉県への要請行動(埼玉地方法務局、あけぼのビル/小池)

27日▼県佛大会打合せ(ウエスタ川越/金子局長、小池)

28日▼「解放同盟」狭山事件の再審を求める市民集会(日比谷野外音楽堂/金子局長、本間、永堀)

11月

1日▼「人権埼玉実行委員会」埼玉県知事要請行動(木村会長、深谷専務、金子局長)

4日▼「埼玉同宗連」第3回役員会

11月

1日▼「人権埼玉実行委員会」

福岡県実行委員会意見交換・視察交流会(福岡県/小池/5日)

22日▼「解放同盟」埼玉人権フォ

18日▼新年懇親会

13日▼「解放同盟」県連旗びらき(ホテルマロウドイン熊谷)

19日▼「埼玉同宗連」新年懇親会

16日▼「全仏」60周年記念事業式典部会(増上寺会館/金子局長)

20日▼「埼玉青」写仏

22日▼仕事納め

25日▼「人権埼玉実行委員会」

埼玉県との事務折衝(浦和・あけぼのビル/本間)

27日▼第39回県佛大会打合せ(川口リリア/金子局長、本間)

1月

13日▼事務局仕事はじめ

16日▼「全仏」60周年記念事業式典部会(増上寺会館/金子局長)

20日▼「埼玉青」写仏

22日▼仕事納め

25日▼「人権埼玉実行委員会」

埼玉県との事務折衝(浦和・あけぼのビル/本間)

27日▼第39回県佛大会打合せ(川口リリア/金子局長、本間)

今後の予定

平成29年 1月

13日▼事務局仕事はじめ

16日▼「全仏」60周年記念事業式典部会(増上寺会館/金子局長)

20日▼「埼玉青」写仏

22日▼仕事納め

25日▼「人権埼玉実行委員会」

埼玉県との事務折衝(浦和・あけぼのビル/本間)

編集後記

坐禅で下肢の不調が分かり、さいたま国際、NAHAMARONは棄権。風邪からの咳で肋骨にヒビが入るなど健康街道を勢いよく駆け下りたので、今年はコツコツ元の所まで戻ります(鯉)

21日▼「埼玉保」新年懇親会
27日▼「埼玉同宗連」新年懇親会
30日▼「全仏」新年懇親会

埼玉県佛教保育協会 第32回埼玉県佛教幼児画展

《日時》

平成29年1月21日(土) 13時~17時

1月22日(日) 10時~16時

《場所》

さいたま市民文化センター [南区根岸1の7の1]

※入場自由

